

埼玉県立狭山特別支援学校の活性化・特色化方針

（令和3年度～）

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・ 学科	小・中学部 (義務教育単独校)	児童 生徒数	(男) 104 (女) 48	計 152
ホームページ	https://sayama-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	西武鉄道 仏子駅下車 徒歩20分 西武バス狭山市駅西口～狭山グリーンハイツ「根岸新道」下車徒歩20分					
教育課程等 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの児童生徒にそれぞれのニーズに合わせた指導・支援を行う教育内容。 ・見通しを持って学習に取り組むための支援ツールを作成し、分かりやすい視覚支援ツールの活用。 ・ユニバーサルデザインを取り入れた、校内の構造化の推進。 ・小・中学部特別支援学校として、行事・設備共にゆとりのある教育活動の推進。 ・学びの連続性を重視した対応に努め、教職員への理解の浸透。 ・それぞれの指導支援について、学びの連続性の事例研究等の校内での積み上げ。 					
特色ある 学校行事や 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会・文化祭において小・中の児童生徒が一丸となり取り組む姿。 ・人間わかくさ高等特別支援学校と運動会、文化祭等をとおして交流を深め、充実した行事の実施。 ・コンピューター等の情報機器（ICT機器）の指導支援での活用。 					
家庭・地域 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、来校者等すべてに校内の施設、配置、動線が分かりやすくするために掲示物や廊下の表示を工夫。 ・行事において高等部が担ってきた部分について、中学部が中心となって保護者の協力を得ながらの実施。 ・近隣の小中学校との支援籍学習及びセンター的機能による情報交換や指導助言。 ・学校通信（狭特だより）等を通して本校の取組みをさらに広くPRし、保護者、地域から信頼される学校づくりの実施。 					
進路に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度卒業生22名の進路は、人間わかくさ高等特別支援学校普通科進学19名、職業科進学1名。 ・人間わかくさ高等特別支援学校との連携。 ・中学部3年、保護者、教職員対象の見学会、体験学習をそれぞれ実施。これらの取り組みにより、中学部卒業後のイメージを持てるよう指導。 ・高等部卒業後の視点を大切にしたカリキュラム・マネジメントを計画的・組織的に行い、人間わかくさ高等特別支援学校等と児童生徒、PTAとの連携を強化。 					

（生徒数はR2.5.21現在、進路はR2.3月卒業生の実績値）



マスコットキャラクター
たまちゃん

学校教育目標

(目指す子ども像)

さ

さえあう

や

りとげる

ま

なびあう

児童生徒の力を引き出す多くの行事で育みます

- ☆汗いっぱいがんばる運動会
- ☆歌や踊りをみんなと発表する
びかびか祭り(文化祭)
- ☆みんなと一緒に宿泊学習
遠足、社会体験学習



キャリア教育を推進

- 学習の中での取り組み
- 家庭との連携
- 保護者対象の
進路講演会
- 公開学習会
- 進路先見学会

小学部低学年

- 自分の気持ちを伝え、たくさんの
人と関り合いながら一緒に活動する。
- ☆「やってみたい」「やってみよ
う」と自分から取り組む。

中学部

- 集団生活に必要な能力や態度を養い、
よりよく生活していく力を育てる。
- ☆作業学習「紙すき」「農園芸」
「織物・手芸」「革工芸」を通じて仲間
と一緒に学び、楽しむ力をつける。
- ☆卒業後を見据え、目標・希望を持って
見学・説明会・体験学習に参加する。

小学部高学年

- ☆集団を意識し、みんなと一緒に活動
する力を育てる。
- みんなと一緒に楽しく学びあう力を
育てる。



自主性
社会性

支援籍では

居住地の小、中学校で
楽しく勉強をします。

個に応じた支援・指導の充実

- 児童生徒が見通しを持ちながら
学習する支援ツールの活用
- 校内構造化への取組み校内表示の充実。

卒業後の進路先

自らの進路選択

高等部普通科

高等部特進学科

高等学園・分校

就労(一般・福祉)

私たちの宣言

私たちは、一人一人を大切にすることを第一とし、子どもたちの個性を伸ばし、個性を大切にしながら、可能性を最大限に伸ばす支援を行います。また、支援・指導の充実を図るために学級、学年、学部の会議などで情報を交換し合いながら個々の教育の得意分野を話し、一人一人の子どもたちの笑顔に合った指導・支援を実施します。

狭山特別支援学校は、小・中学部の学校です。